Nauticam

NA RX100II ハウジング　取扱説明書

For SONY DSC-RX100II

Fisheye

目次

安全にお使いいただくために ……3
事前チェック ……5
仕様 ……5
各部名称 ……6
【取扱方法】
　リアケースの開閉方法 ……9
　カメラのセッティング ……10
　ストロボ ……11
メンテナンス ……12
保証規定 ……15
保証書 ……16

＊取扱説明書について

- 本書の内容につきましては、予告なく変更することがあります。
- 本書の内容について万一、誤り、記載漏れ、印刷ミス、不明な点がありましたら弊社、もしくはお近くの販売店までご連絡をお願いいたします。
- 本説明書の一部もしくはすべての転載、コピーなどは個人でご使用になるもの以外一切認められません。

安全にお使いいただくために

●このたびは防水ハウジングNA RX100IIをお買い上げ頂きありがとうございます。
●この説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
●誤った使い方をされますと、カメラ、ハウジングの故障や水没の原因となり、修理不能になる場合があります。
●ご使用の際にはこの説明書に従い、必ず点検・テストを行ってください。
●デジタルカメラの水没、故障、データの消失時の補償や、分解、改造、修理に伴う事故などに関し、当社では一切責任を負いかねますので、ご了承ください。また、使用時の人身、物損事故に関しての補償はいたしかねます。
●当製品は削り出し工法により作られております。そのため、多少の傷、切削目がありますが、動作には支障ありません。それに伴うクレームなどはご容赦ください。

安全上の注意

ここに表示した注意事項は、状況によっては重大な結果に結びつくおそれがあります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 危険	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
⚠ 警告	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

⚠ 危険

●デジタルカメラに使用するリチウムイオンバッテリー接点部同士を、金属板や針金などで絶対に接続しないでください。感電や発火の原因になります。
●本製品を絶対に改造・分解しないでください。発熱や発火の原因になります。
●本製品を水中で使用する際は、常に水深や潜水時間にご注意ください。撮影に集中しすぎると潜水事故につながる危険性があります。

⚠ 警告

●本製品を乳児、幼児、小さなお子様など、本製品の取扱いの注意について理解できない人の手の届く場所に保管しないでください。落下によるけがやOリングを巻き付けることによる窒息、小さい部品を飲み込むなど、事故の原因になります。
●使用されないときにはデジタルカメラ本体を取り出してください。電池の故障による発火などのおそれがあります。
●本製品を強い衝撃や圧迫によって破損させた場合、破片や割れた本体部分に接触してけがをするおそれがあります。取扱いには十分にお気をつけください。
●本製品に付属するOリングやグリスなどは食べられません。

⚠ 注意

●本製品は100mの水深まで耐えられるように設計されています。それ以上深い場所で使用されたり、それより浅い深度においても衝撃や圧迫を加えますと破損したり、浸水したりするおそれがありますので、ご使用深度やご使用方法について十分にお気をつけください。また、合わせてご使用になる付属品の耐圧深度もご注意ください。

●浸水や故障などの事故を防ぐためにこの説明書を良くお読みになり、ご使用前後に点検とメンテナンスを必ず行ってください。

●気温が異常に高くなる、あるいは低くなる場所、極端に大きな温度変化がある場所などに本製品を置いたり、保管したりしないでください。部品が劣化し、破損したり防水機能を損なったりするおそれがあります。

●砂や塵、ほこりなどが多い場所でリアケースを開閉すると、防水部分に異物が付着することで防水性能が損なわれ、水漏れの原因となることがありますので、絶対に行わないでください。

●飛行機で移動する場合は、本体のOリングを外しておくことをおすすめします。気圧の関係でリアケースが開かなくなったり、またその状態で無理に開こうとすることでハウジングが破損し、けがをするおそれがあります。

●アルコールやベンジン、シンナーなどの有機系溶剤は、変形などの原因になるおそれがありますので絶対にご使用しないでください。

●万一、浸水した場合、すぐに使用を中止してください。また、浸水している場合、本製品内部の圧力が高くなっていることがあります。ハウジングのリアケースを開ける際、水が噴き出したり、カメラ本体が跳ねたりすることがありますので、十分ご注意ください。

●製品は樹脂製素材を使用しています。使用中に岩などにぶつけて強い衝撃を与えると破損する場合があります。取り扱いには十分注意をしてください。

●ダイビングのエントリー時はその方法によっては製品に衝撃を与えることになり、水没、破損の原因になるおそれがあります。エントリー後に手渡してもらうなど、衝撃を避けるようにしてください。

●ご使用の前には必ず説明書に従い、Oリングのメンテナンスを行ってください。とくにグリスアップを怠ると、Oリングのねじれや劣化につながり水没のリスクが高くなります。

●ハウジング内部はよく乾燥させてください。水滴が残っている場合、結露を起こします。使用環境、温度差、湿度により結露を起こす場合は、FIXシリカゲル、FIXシリカシート、リークインシュアをご使用ください。

●ご使用前に直射日光のあたる場所に放置しないでください。ハウジング内部の温度が上がった状態でエントリーすると、急激な温度変化により結露を起こす場合があります。

当製品の特長

本製品は、丈夫な耐腐食アルミ合金の精密な削りだし加工により作製されています。ハウジング外部からほぼすべての操作が可能なので、Sony DSC-RX100IIの性能を水中でもあますところなく発揮できます。

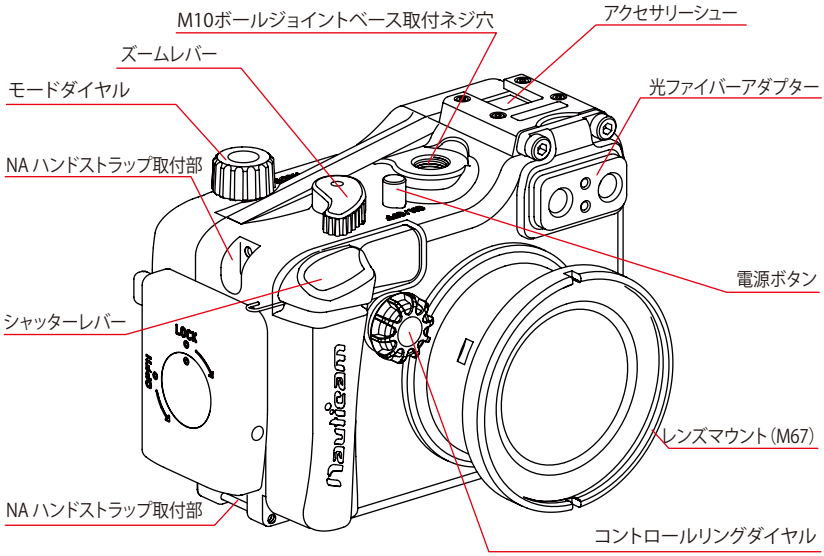
事前チェック

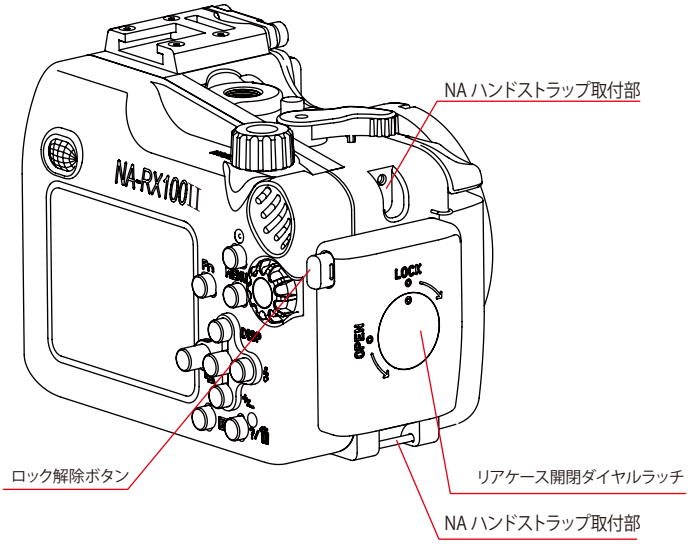
●この取扱説明書はお客様がすでにSONY RX100IIカメラのご使用方法を熟知されていることを前提に書かれています。もし、まだカメラのご使用に不慣れであれば、ハウジングのご使用前にカメラ本体の説明書を再度お読みいただきますようお願いします。
●商品を開梱する前に、梱包されてきた箱にダメージなどがないかどうかご確認ください。もし大きなへこみなど、気になる点があればお届けした配送業者あるいはご購入店へすぐにご連絡ください。
●すべてのハウジングは出荷前に耐圧検査を実施の上で出荷しておりますが、輸送時に何らかのトラブルが発生する場合があります。ダイビングでご使用なる前に、カメラを装填しない状態で防水性能をご確認いただくことをおすすめします。
●ご使用前に付属品がすべてそろっているかお確かめください。

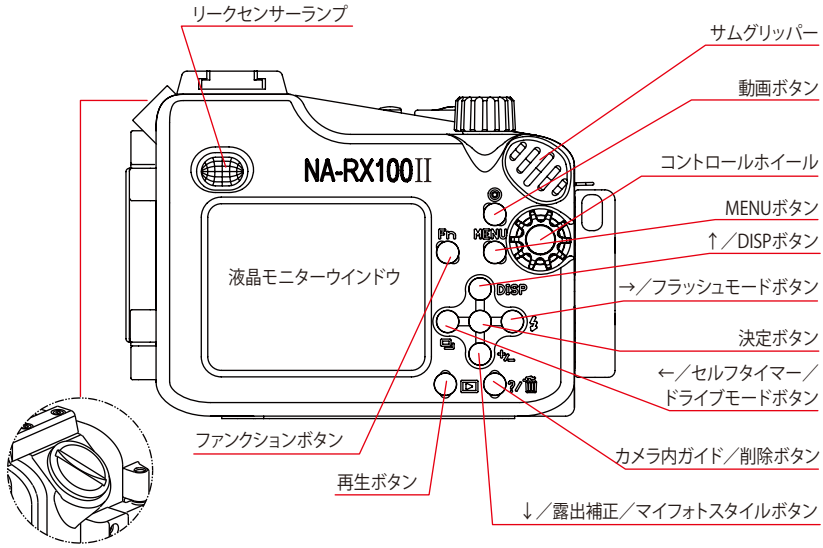
仕様

対象デジタルカメラ	SONY DSC-RX100II
最大水深	100m
材質	アルミ合金、耐摩擦性ポリカーボネイト、ゴムなど
サイズ（本体）	W144×D114×H102mm
重量	744g（陸上/ハウジングのみ）
レンズマウント	M67
付属品	光ファイバーアダプター
	内蔵ストロボ拡散板
	ポートレンズキャップ
	Oリンググリス
	スペアOリング
	Oリングリムーバー
	CR2032電池
	六角レンチセット
	本取扱説明書（製品保証書付）

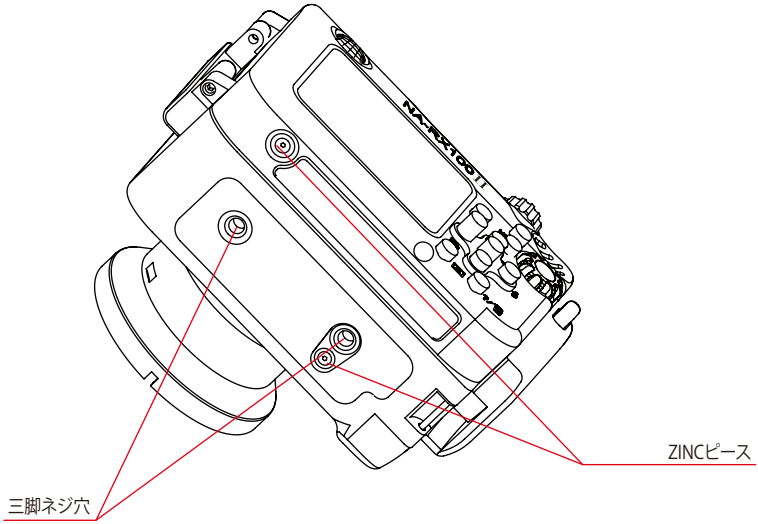
各部名称


M10ボールジョイントベース取付ネジ穴
アクセサリーシュー
ズームレバー
モードダイヤル
光ファイバーアダプター
NA ハンドストラップ取付部
電源ボタン
シャッターレバー
レンズマウント (M67)
NA ハンドストラップ取付部
コントロールリングダイヤル


NA ハンドストラップ取付部
NA-RX100II
LOCK
OPEN
ロック解除ボタン
リアケース開閉ダイヤルラッチ
NA ハンドストラップ取付部



* HDMI 接続による外付け LCD モニターを取り付けることができます。



事前テスト

ご使用前に

1. カメラをハウジングに装填する前に、空の状態のハウジングをご使用になる水深に沈めて水漏れの有無を確認してください。
2. ハウジングの水漏れ事故は、主に以下が原因です。
   ・Oリングの付け忘れ。
   ・Oリングが溝に正しくはまっていない。
   ・Oリングにキズ、ひびがある。または変質、変形している。
   ・Oリングの溝もしくは接触面に、砂やゴミ、髪の毛などが付着している。
   ・Oリング接触面やOリングのはまっている面に傷がある。
   ・リアケースを閉じる際にストラップやシリカゲルを挟み込んでしまう。

※ハウジングに水漏れがある場合、上記の原因を取り除き再度テストを行なってください。

> ⚠ 注意　水漏れ確認はご使用になる水深まで沈めて行うのが最適です。これが難しい場合、水深が浅く水圧のかからないところでも確認できる場合がありますので、事前テストは必ず行なうようにしてください。

ダイビング前のチェック

ダイビングでご使用になる前に以下の水漏れ最終チェックを必ず行なってください。

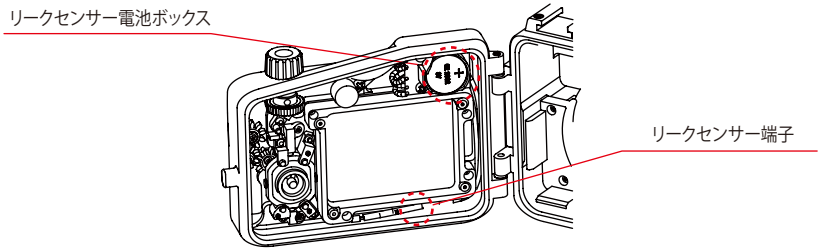
1. 水を張ったカメラ洗い桶に（なければ水面にて）、ハウジングを水平の状態でゆっくりと水に沈めます。
2. 最初は3秒間水に入れ、本体から気泡が上がってこないか確認します。
   （Oリング付け忘れやストラップ等のはさみ込みがあれば3秒だけでも浸水します）
3. 同様に30秒/3分とチェックを行います。
4. 本体から継続的に気泡が上がる場合ご使用を中止し、水からあげて再度Oリングのチェックをしてください。

リークセンサー

本ハウジングにはリークセンサーが標準装備されています。万一、ハウジング内に浸水が発生した場合、音とランプで知らせます。ご使用前にリークセンサーが正常に働くかどうか確認してください。

1. 付属のCR2032リチウム電池をリアケース内側の回路基板上の所定の場所にセットします。
2. リークセンサーの端子2本を軽く湿らせた綿棒で触ってみて下さい。LEDが赤く点灯し、アラーム音がすれば異常ありません。その後、乾いた布などで端子表面を軽く拭いてください。警報音と点灯は、拭き取り後約5秒間継続します。

*LEDが点灯せずアラーム音が発しない場合は、電池を交換し再度お試しください。



取扱方法

リアケースの開閉

＊リアケースの開閉は、湿気やほこりの少ない清潔なところで行ってください。

【開け方】

1. ロック解除ボタンを押したままリアケース開閉ダイヤルラッチを「OPEN」方向に回転させます。(図1)
2. リアケースがリリースされますので、矢印方向にゆっくりと開放してください。(図2)

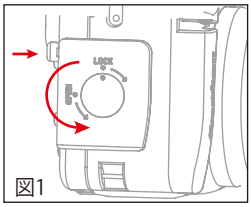


図1

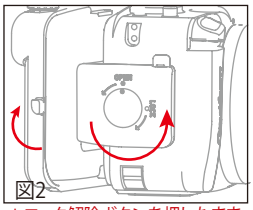


図2

＊ロック解除ボタンを押したまま回してください。

> **注意** しっかりと解除ボタンが押し込まれていない状態でダイヤルラッチを回転させると、内部部品が破損しダイヤルラッチのロックができず浸水の原因となるおそれがあります。

【閉め方】

1. カメラが正しくセッティングされているか確認します。
2. OリングとOリング接触面にゴミなどの付着物がないか確認します。
3. リアケースの凸部がダイヤルラッチの溝に入り込むように、リアケースを静かに閉めます。
4. ダイヤルラッチのロック解除ボタンを奥までしっかりと押し込みながら「LOCK」方向いっぱいまで回転させ、ロック解除ボタンを元に戻してください。(図3)
5. リアケースがしっかりロックされていることを確認します。

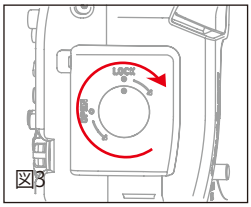


図3

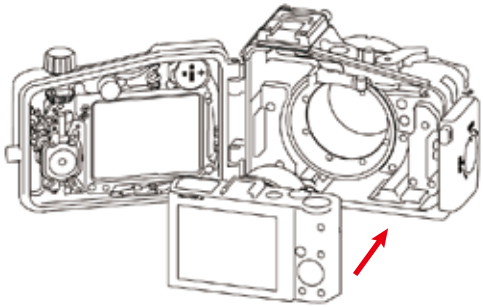
> **注意** ロック解除ボタンの白線が表示され、リアケー スがロックされたことを必ずご確認ください。

カメラのセッティング

【カメラ本体の装填方法】

1. カメラ本体にストラップなどのアクセサリーがついていれば取り外し、電源をOFFにします。
2. カメラ本体を静かにハウジング内部にセットします。
3. リアケースを閉じ、コントロールホイールや各ボタン／レバーの操作ができるか確かめてください。

> ⚠ 注意　カメラがハウジングに正しくセットされていないとボタンやレバーが操作できない場合があります。



> ⚠ 注意　液晶モニターのセッティングは垂直のみです。チルト機能は使用できません。

内蔵ストロボでの撮影

■光ファイバーアダプターの取り外し

出荷時は光ファイバーアダプターが装着された状態になっています。内蔵ストロボでの撮影時は、付属の六角レンチにて2本の固定ネジを外し、光ファイバーアダプターを取り外してください。

■ストロボ拡散板の使用

付属の拡散板を取りつけるとクローズアップ撮影時のポートによる内蔵ストロボ光のケラレを軽減できます。

【拡散板の取り付け】

1. 図のように、拡散板をレンズポート右上から矢印方向に引き下ろしはめ込みます。
2. 拡散板がカチリと確実にロックしたことを確認してください。

外部ストロボの接続

光ファイバーアダプターに光ファイバーケーブルを取り付けることにより、カメラ本体のストロボ光に連動した外部ストロボ撮影が可能です。使用可能な光ファイバーケーブルは2種類です。(Sea&Seaタイプと先端断ち切りタイプ)

■光ファイバーアダプターの使用

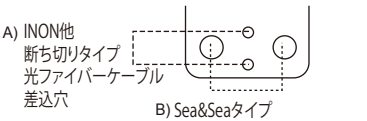
1. 製品に同梱されている光ファイバーアダプターを、ハウジングの内蔵フラッシュウインドウ前面に取り付けます。(出荷時は装着された状態になっています)
2. 光ファイバーケーブルを光ファイバーアダプターの差込穴(下図のAまたはB)に奥まで差し込みます。
3. ストロボの発光テストを行います。

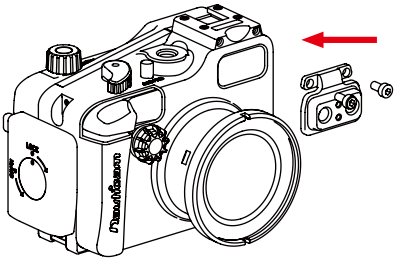
＊ストロボの発光がうまくいかない場合は、下記の項目をチェックしてください。

・光ファイバーケーブルが差込口に奥までしっかりと差し込まれているか?

・ご自身で光ファイバーケーブルをカットされた場合、切り口がつぶれていないか?

以上を確認の上、再度発光テストを行ってください。





＊光ファイバーケーブルを強く曲げると、ケーブルが折れる場合がありますので、ご注意ください。

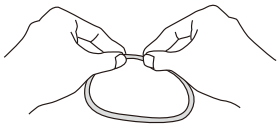
メンテナンス

Oリングのグリスアップ

ハウジングのリアケースを開けたときには必ずOリングのグリスアップをしてください。お客様ご自身でメンテナンスや交換が可能なOリングは、リアケース開閉部のみです。

【Oリングのメンテナンス手順】

1. 付属のOリングリムーバーを、Oリングと本体の溝の間に差し込みます。
2. Oリングリムーバーの先端でOリングを引っ掛け、溝からOリングを外します。
3. OリングとOリング溝に付着した砂、塩、古いグリスを除去します。Oリング溝は綿棒などを使うときれいに清掃できます。指の感触や目視してキズやひび割れなどがある場合は、Oリングを交換します。
4. 付属のシリコングリスを米粒大ぐらい指先に取り、三本指で挟むようにしてOリング全体に均一に塗ります（図A）。力を入れてOリングを引っ張らないようにしてください。グリス自体が防水性を持つわけではありませんが、量が少ないとOリングが溝の中で部分的にねじれ、水没の原因となります。



（図A）

5. Oリングを溝にはめます。その際、Oリングがねじれたり、はみ出したりしないようにして下さい。
6. リアケースを閉じる際には、もう一度Oリング面とリアケース側Oリング接触面を目視および指でなぞって、ゴミや髪の毛の付着がないか確認します。

注意

- Oリング面に小さな傷やひび割れなどがある場合、そのOリングは絶対に使用せず、すぐにスペアと交換してください。
- Oリングのはまっている溝、またはOリングが当たる接触面にも砂や小さなゴミ、髪の毛などが付着していないか必ず確認してください。また、傷やひびなどがないかもしっかり確認してください。
- OリングやOリング溝、Oリング接触面のチェック、グリスアップなどは、開閉時に毎回行ってください。

注意

本製品に装着されているOリングは、シリコンタイプを使用しています。グリスアップする際は、必ず付属されているOリンググリスを使用してください。付属のグリス以外を使用するとOリングが膨張し防水性能を損ないます。

ZINCピース

ハウジング底部のZINCピースは、錆や腐食によるボディの劣化を軽減します。ご使用になるうちに徐々に融解していきますので、適宜交換を行ってください。

使用後のメンテナンス

海水でご使用の後は次の手順で塩分を洗い流してください。

1. 真水を溜めたカメラ専用の洗い桶や洗面器などにハウジングを浸けます。
2. 各ボタンやレバーを真水の中で操作し、塩分を洗い流します。
3. できれば、10〜20分程度洗い桶に浸しておきます。
4. 水洗い後は、乾いたやわらかい布などで水気をよくふき取ってください。

*弊社製品の塩害防止剤『ソルトアウェイ』を合わせてご使用することをおすすめします。

注意

- 真水から上げたら、弱い流水で洗ってください。部分的に高い水圧がかかると水漏れするおそれがあります。流水で水洗いをする場合は、十分にお気をつけください。
- ハウジング接合部に水滴が残っていると、開閉時に水滴がハウジング内に落ち、カメラの故障の原因になります。乾いたタオルで水滴が残らないようにし、ハウジング内部に水滴が垂れないようにしてください。
- 塩分が付着したまま乾燥させると、機能に支障をきたす場合があります。使用後は必ず真水にて洗浄してください。
- ハウジングを乾燥させる場合、炎天下での直射日光やドライヤー、ストーブによる乾燥は、故障や変形、破損の原因になりますので絶対に行なわないでください。
- ハウジングを直射日光の当たる場所に放置しないでください。また、真夏の車の中など高温になる場所への放置、保管はおやめください。内部温度が上昇して、防水機能に支障をきたす場合があります。
- ハウジングをシンナー、ガソリン、ベンジンなどの揮発性有機溶剤、また化学洗浄剤などでクリーニングしないでください。

■保管について

長期間ご使用にならない時は、ハウジングからOリングを取り外し、Oリングはグリスアップの後ビニール袋などに入れて保管をしてください。Oリングは1年毎に交換してください。また、ご使用頻度により2〜3年に1度のオーバーホールをおすすめします。

NOTE

別売の『FIX メンテナンスキット』をご利用いただくと、効果的に機材のメンテナンスを行うことができます。

Memo

保証規定

当社は、取扱説明書の注意事項にしたがったお取り扱いにより本製品が万一故障した場合、お買い上げ日から満一年間無料修理をいたします。浸水等によりご使用のデジタルカメラに損害が生じた場合、いかなる理由でも、デジタルカメラ本体に対する補償はございません。ご使用になるカメラ本体には「保険」をおかけいただくなど、ご使用者ご自身での対処をお願いいたします。また、本製品の故障に起因する付随的損害(ダイビングや撮影に要した旅行費用等の諸費用、及び撮影により得られる利益の喪失など)については補償しかねます。また、保証期間の内外によらず修理時の運賃、諸掛かりはお客様においてご負担をお願いいたします。

保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
1. 使用上の誤り (取扱説明書の取扱上の注意事項等以外の誤操作等) により生じた故障。
2. 当社以外で行われた修理、改造、分解等による故障。
3. お買い上げ後の輸送、落下、衝撃等による故障及び損傷。
4. 火災・地震・水害・落雷その他の天災地変、公害による故障及び損傷。
5. 保管上の不備 (高温、多湿の場所、有害薬品のある場所での保管) や手入れの不備等による故障。
6. 砂・泥・水かぶり等が原因で発生した故障。
7. 保証書のご提示がない場合、または保証書の記載事項を訂正された場合。

＊本製品の故障に起因する付属的障害（撮影に要した諸費用や逸失利益等）については補償いたしかねます。
保守パーツは製造打ち切り後、5年間在庫しております。
また、当製品にはボタンやスイッチ部分にOリング等消耗品が使われております。2年ごと、もしくは長期間ご使用になられなかった場合、オーバーホール（有償）をおすすめします。

保証書

お名前

ご住所　〒

TEL

購入日	年　月　日から1年間
品名	SONY DSC-RX100II 対応防水ハウジング
品番	NA-RX100II
製造番号	
販売店名	＊必ず販売店名印を押して下さい。

「販売店名印」「購入日」の記入をご確認ください。
記入無き場合は無効となりますので、直ちにお買い上げ店までお申し出ください。
本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

株式会社フィッシュアイ　〒171-0052 東京都豊島区南長崎5-29-7 TEL:03-5996-5637 FAX:03-5996-7202

www.fisheye-jp.com　**E-mail:info@fisheye-jp.com**

ご購入後のメンテナンス・修理等は株式会社フィッシュアイにて承ります

フィッシュアイカスタマーサービス　03-5988-0191　cs@fisheye-jp.com